

万世橋地域の まちづくり



桜井久喜 「聖堂」

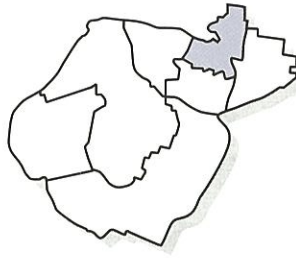


田中巖 「神田明神下路地風景」



松田和弘 「まつり」

万世橋地域の のまちづくり



下町風情と先端性が調和する 活気に満ちたまち

万世橋地域は、神田明神、老舗の商店等の下町的・伝統的な雰囲気や駿河台の落ち着いた雰囲気大切にすると共に、電気街の先端的な産業集積によるヒト・モノ・情報の拠点を育むまちを目指します。

また、人々が憩える回遊空間の形成を進め、多くの人でにぎわうまちを目指します。

万世橋地域の特性

地域の移り変わり

万世橋地域は、江戸期には、駿河台付近に大名屋敷、武家屋敷が広がり、それらを囲むように町屋が高密度に広がっていました。また、神田明神が江戸城の近くから移転してきました。

明治期には、市電や鉄道が開通し、万世橋駅（現交通博物館）のあった須田町周辺は東京一の盛り場として栄えました。

関東大震災によって地域の大部分を焼失しましたが、震災後の復興区画整理事業により、幹線道路である靖国通り等が整備され、現在のような地域の骨格が形成されました。

昭和の初めには万世橋駅は廃止され、東京の台所であった多町の青果市場が秋葉原に移りました。

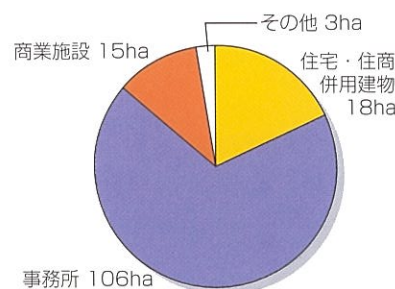
戦災でも市街地の大部分を焼失しましたが、戦後は秋葉原駅の周辺に電気店が多く立地し、現在では世界でも類をみない大規模な電気街となっています。

また、秋葉原駅周辺では、青果市場跡地を中心に区画整理事業等による基盤整備が進められ、常磐新線の開通も予定されているなど、今後の一層の発展が期待されています。

地域の現況

土地利用（土地の使われ方）

万世橋地域は商業地域に指定されています。広域的な集客力を持つ電気街をはじめとして、周辺には老舗を中心とした商業地、神田明神周辺の情緒ある下町的な住商混在地があります。また、駿河台には教育・文化・医療施設や大規模なオフィスビルがみられるなど、本地域は多様な顔を持っています。



万世橋地域の用途別建物床面積
資料：千代田区土地利用現況調査（平成8年度）

住宅・住環境（住まいなどのようす）

人口密度が他の地域と比較して高く、依然としてファミリー世帯が住み続けている（一世帯当たり2.27人）ものの、高齢化(高齢者比率24.8%)や人口減少が続いています。また、生活利便施設も減少するなど、住商混在によるにぎわいある下町型の住環境の悪化やコミュニティの衰退が懸念されています。（数字は平成9年現在）



万世橋地域の人口・世帯数・世帯当たり人員
資料：住民基本台帳統計資料（各年1月1日現在）

業務・商業環境（オフィスや店舗のようす）

電気街では広域的な集客力によるにぎわいがみられるとともに、関連した業務施設が多く立地しています。また、淡路町・須田町地区を中心に老舗と呼ばれるような歴史ある飲食店等も多くみられます。

都市施設（道路、公園などのようす）

広域的な役割を担う幹線系道路・鉄道・神田川で地域の骨格が形成されています。街区はほぼ整形ですが、細街路も多く存在しています。また、商店の荷捌きスペースの不足等から路上駐車が多く、交通混雑を引き起こしています。

都市計画道路については概ね整備されていますが、外神田2丁目の環状2号線など、まだ未整備のものもあります。

公園・広場等のまとまりのあるオープンスペースは不足しています。また、秋葉原駅の東西を結ぶ回遊動線の不足もみられます。

お茶の水駅は多くの乗降客でにぎわっていますが、安全性や快適性の面で問題もみられます。



大勢の人が行き交う御茶ノ水駅前

市街地環境（景観、防災などのようす）

電気街などの独特の街並みが形成され、多くの来街者でにぎわう活気のあるまちとなっています。さらに、下町的な雰囲気、神田川、橋、橋詰め広場など、地域の個性と魅力を演出する資源があります。しかしながら、身近な緑や防災上有効な空地が乏しいなど、ゆとりやうるおいに欠けた街並みや防災上の課題もみられます。

地域のまちづくり資源

万世橋地域において、守り、育て、活かすべきまちづくりの資源は…

電気街のにぎわい

世界的にも有名な電気街は、時代の最先端あるいは日常生活のための電化製品を買い求める多くの人々でにぎわっています。



参拝者の絶えない神田明神

歴史ある神田明神と下町らしさの残る界隈

神田明神や歴史を刻んだ老舗飲食店を中心に下町らしさの残る界隈があり、現在でもなお独特の雰囲気を醸し出しています。また、電気街のビルの谷間にも講武稲荷等の小さな魅力資源が残っています。



JR高架下の赤レンガ

神田川や川沿いの空間、赤れんが、橋、橋詰め広場

地域の名前ともなる万世橋をはじめ、神田川や橋詰め広場、JR中央線下の赤れんが、交通博物館（旧万世橋駅舎）などが一体となり、特徴的な景観を創り出しています。

ニコライ堂等の特徴的な建造物

ニコライ堂、お茶の水スクエア、聖橋などの特徴的な建造物が景観のアクセントとなり、個性的な街並みを創り出しています。



緑に包まれるニコライ堂

地域の重要課題

万世橋地域のまちづくりに向けた重要課題は…

居住促進による、活力ある地域づくり

万世橋地域では、オフィスの進出と人口の減少が続き、地域コミュニティの衰退が懸念されています。都心の利点を活かして居住を促進するとともに、生活利便施設の充実を図り、育児世代も安心して住めるような豊かな地域コミュニティと活力ある地域をつくることが重要です。

万世橋地域の まちづくり

地域の活力をつくる、活気と魅力ある商業空間の形成

電気街や老舗の飲食店等の集積を活かしつつ、時代の変化に的確に対応するよう、魅力的な商業空間づくりが重要です。また、電気街周辺の多量に発生する交通を処理する、安全でゆとりある道路の確保や荷捌きスペース・駐車場の整備、商業空間をつなぐ歩行者の回遊動線を確保する歩行空間づくりが重要です。さらに、より魅力的な商業空間にするために景観にも配慮した街並み形成も重要です。

緑やオープンスペースの確保

公園・オープンスペースが不足しており、防災性の向上などの面からも、開発等に伴う緑やオープンスペースの確保が重要です。

文教地区にふさわしい良好な環境の保全・創出

日本大学をはじめとして、多くの教育施設を有する文教地区にふさわしい良好な環境としていくことが重要です。



育児世代も安心して住めるまち



活気ある商業空間



公開空地によるオープンスペース

広報によるハガキアンケートの声より

- ・地震などの災害が起きても住み続けられることのできるまちとして欲しい。(外神田六丁目在住・50代・男性)
- ・身近な緑が少ないので、緑化を進めて欲しい。また、都心の利便性を活かして、学校も幼稚園から大学までであるような、教育環境の充実したまちとして欲しい(神田須田町一丁目在住・40,80代・女性)

万世橋街づくり協議会での討議より

- ・秋葉原駅前の市場跡地の開発によって、このあたりはガラリと変わると思う。今後の跡地利用に期待をしており、住民の声も反映して欲しい。
- ・近隣に大学等教育施設が多いので、教育環境が良い。
- ・電気街は最先端の商品を売っているのに、光ファイバー⁶⁴、CATV⁶⁵などの情報系のインフラが整備されていない。
- ・駐車スペースが不足しているためか、荷捌きの車などの路上駐車がが多い。
- ・神田明神のお祭りによって、住民の結びつきが深まっている。近くの高校生も参加しており、勤めに来ている人ももっと参加をして欲しい。
- ・ニコライ堂などの歴史的建造物を整備・維持して欲しい。
- ・お茶の水仲通りは駅につながる歩きやすい道なので、より歩行者の視点を大事にした道としたい。
- ・神田川沿いの、往時の面影を残す昌平橋付近の赤れんがを残したい。
- ・聖橋は夜ライトアップしており、明るくて良い。
- ・外神田六丁目は昔と比べ、緑が少なくなってきた。
- ・学校があるので、古書街や楽器店が集積している。芸術と文化のまち、文学と音楽のまちにしたい。

64. 光ファイバー：
16ページ参照。

65. CATV：
16ページ参照。

外神田二丁目

2

全体的には中層の複合市街地として、神田明神を地域の核として活かし、商業併用の住宅と業務施設が調和した活気のあるまちをつくります。

近隣エリアの電気街や湯島聖堂といった魅力資源とも連携し、にぎわいのあるまちを形成します。

神田明神は地域の貴重な魅力資源として保全・活用していきます。

生活のための店舗や飲食店が並び、憩いや集いの広場も備えた活気あるまちをつくります。

神田川の親水性の向上や川と一体となった街並み、快適な歩行空間づくりを進めます。

6

親水性と水質の向上を図り、魚や昆虫が生息し、また、自然浄化がなされるように努めます。
川沿いの建物などの形態を規制・誘導していきます。
川沿いに歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。

神田駿河台（一部）・三・四丁目

5













中高層の複合市街地として、御茶ノ水駅周辺のにぎわい、ニコライ堂などの歴史的建築物を活かし、緑やオープンスペースを維持・保全し、文化的なたたずまいを大切にしながら、教育・医療・商業・業務施設と住宅が調和したまちをつくります。

お茶の水駅については、茗溪通りや神田川の緑、水辺と調和させるとともに、安全で使いやすい駅舎として整備を促進していきます。

隣接する小川町のスポーツ用品店街や、神保町の書店街とをつなぐ歩行者の回遊ルートの整備、憩いや集いの場の充実などにより、楽しく歩けるまちをつくります。

教育施設は、地域のたたずまいに調和し、開放性を高めるよう、機能更新を図ります。

凡例

-  特に重点的な緑化を進める、緑の骨格となる通り
-  緑豊かで街並みの美しい、憩いの歩行空間を整備する通り
-  商業施設の賑やかさとコミュニティを育むふれあいの歩行空間を整備する通り
-  表通りゾーン
-  水と緑のうおいゾーン
-  地区境界
-  地域境界
-  区境界
-  JR駅
-  地下鉄出入口
-  公園・緑地
-  河川・濠



万世橋地域

整備方針図

外神田五・六丁目

1 中高層の複合市街地として、練成公園を活かし、住宅と業務施設が調和した、落ちつきのあるまちをつくります。

近隣エリアの電気街のにぎやかさのにじみ出しは極力抑え、生活に関連する商業施設の誘導を図り、落ちつきのあるまちをつくります。

外神田一・三・四丁目

3 中高層の複合市街地として秋葉原駅周辺(旧神田青果市場等)の拠点再開発を進め、電気・情報等の商業・業務施設、文化施設と住宅が調和した、魅力と活気あるまちをつくります。

再開発や常磐新線の整備を進め、住機能と業務・商業機能及び秋葉原駅の利便性が融合した、ヒューマンスケールの感じられる先進的な都市空間の形成を図ります。

周辺地域と調和・連携した一体的な空間やコミュニティの形成を図ります。

秋葉原の電気街を家電からマルチメディアまでの総合的な電気と情報のまちとして育成し、世界の秋葉原としての発展に資するまちづくりを進めます。

常磐新線の整備に併せ、秋葉原駅の利用者の安全性や快適性を高めるよう整備を進めます。
秋葉原駅東西市街地の一体化を図り、東西を結ぶ歩行者動線を確保していきます。

中高層の建築物が連続するなか、活気と安らぎを感じさせる空間を創出していきます。

神田淡路町一・二丁目、神田須田町一丁目

4 中高層の複合市街地として、明治期の面影を残す交通博物館や赤れんが、老舗などの雰囲気大切にしながら、住宅と商業・業務施設とが調和した、活気あるまちをつくります。

淡路小学校跡地は、地域のコミュニティの核となるよう、周辺も含めた住機能の確保、良好な市街地形成を進めます。

7 表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。

中央通り沿道では、世界の秋葉原にふさわしい街並みをつくるとともに、電気街を訪れる歩行者のために、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行者空間をつくります。

靖国通り・外堀通りは、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。